

# きたまち まちかど 博物館

2023年度  
イラスト  
MAP



近鉄奈良駅から北側一帯を「きたまち」と呼びます。  
「きたまち」には奈良時代に建てられた東大寺転害門やコスモスで有名な般若寺などの社寺のほか、江戸時代の街道筋のにぎわいを今に伝える建物や、明治時代の洋風建築などが残り、歴史のモザイクの様相を呈しています。  
「きたまちまちかど博物館」で地域にある伝統の技、歴史的な文物や収集品に触れ、「きたまち」の奥深い歴史を感じてみませんか？



幅の狭い道路や一方通行の道路がございますので、  
事前に目的地までのルートか最寄りの駐車場をご確認ください。



# 散策 スポット

まちかど博物館以外にも  
見どころいっぱい！



## 般若寺



寺伝によると629年高句麗の僧慧灌がこの地に寺を建て、文殊菩薩を安置したのに始まります。鎌倉時代の優美な建築様式の楼門(国宝)が残され、楼門の奥正面に立つ十三石塔は高さ約14.2mで宇治の浮島十三石塔に次ぐものです。石仏を彩って咲く春の山吹、秋のコスモスなどの花の寺としても有名です。

**アクセス** JR・近鉄奈良駅から奈良交通バス青山住宅行き、州見台八丁目行き「般若寺」バス停下車。徒歩4分  
**問い合わせ** 電話 0742-22-6287 開門時間 9:00~17:00 拝観料 大人500円、高校・中学200円、小学100円

## 聖武天皇陵 光明皇后陵



多聞城跡(現:若草中学校)のすぐ西隣。佐保川にかかる法蓮橋を西へ渡ると右手に参道があります。正面が聖武天皇陵(写真)で、途中右に入ると奥に光明皇后陵があります。それぞれ佐保山南陵、佐保山東陵と呼ばれています。ともに南面して拝所が設けられています。

**アクセス** JR・近鉄奈良駅から奈良交通バス西大寺駅行き、「法蓮仲町」バス停下車。徒歩4分

## 多聞城跡



永禄3年(1560)、多聞城は、現在の若草中学校が立つ小高い丘に松永久秀の手で築城されました。四層櫓を備えた近世式城郭建築の先駆とされる美しい城でしたが、築城後わずか数十年で織田信長によって壊されてしまいました。若草中学校正門を入ったところに写真のように碑が建てられています。

**アクセス** JR・近鉄奈良駅から奈良交通バス青山住宅行き、州見台八丁目行き「今在家」バス停下車。徒歩7分

## 對山樓と子規の庭



「對山樓」は、戦前今小路にあった一流旅館で、明治から大正にかけて、伊藤博文、岡倉天心、滝廉太郎など政府の高官や学者・芸術家が多く宿泊しました。正岡子規も對山樓に宿泊し、「秋暮る・奈良の旅籠や柿の味」など多くの句を残しました。平成18年秋、日本料理 天平倶楽部の敷地内にある對山樓跡地の柿の古木周辺を整備し、東大寺大仏殿と若草山を借景にした庭園が造られました。

**問い合わせ** 「子規の庭」保存会 (電話 0742-27-7272)へ。

## 北山十八間戸(史跡)



奈良阪途中の東大寺や興福寺の堂塔を望む丘陵にある、東西に細長い白壁の建物。鎌倉中期に、真言律僧忍性によってつくられたハンセン病棟で、1室約4畳の個室が、十八間設けられているところからこの名があります。もとは般若寺の北東の北山にありましたが、江戸時代に建てかえられたといわれています。

**アクセス** JR・近鉄奈良駅から奈良交通バス青山住宅行き、州見台八丁目行き「東之阪町」バス停下車。徒歩4分  
**問い合わせ** 電話 0742-27-9866(奈良県文化財保存課)

## 南都八景

美しい風景とそれに溶け込んだ風物を選んで何々八景と名付けるのは、中国の瀟湘八景をまねたもので、日本でも近江八景が有名です。南都八景は、東大寺の鐘、南円堂の藤、佐保川の螢、猿沢池の月、春日野の鹿、三笠山の雪、雲井坂の雨、轟橋の旅人となっています。



県庁東側に雲井坂と轟橋の碑が建てられています。





# マナーを守って見学を!!

きたまちまちかど博物館は観光施設ではありません。館長の仕事場や生活の場を見学するものですので、次の注意点を必ず守ってください。

- 公開内容に制約がございます。マナーを守ってご見学ください。
- 事前予約が必要なおところにつきましては、必ず予約の上でお越しください。
- 受入可能な人数に制限がある場合があります。社会見学やグループでの見学を検討されている場合は、必ず事前にご相談ください。
- 専用駐車場のないところにつきましては、公共交通機関をご利用いただくか、近隣の駐車場をご利用ください。



## 7 植村牧場

おもてなしトイレ  
協力施設

明治16年創業。奈良で一番古いという牧場は、明治時代からの牛舎が建ち、30頭の牛と羊、ヤギが皆さんを待っています。牧場の牛乳やランチなども味わえます(有料)。

※大変恐れますが、小動物を連れてのご来場はご遠慮下さいますようお願いいたします。



- ◆館長：黒瀬礼子さん
- ◆住所：〒630-8102 奈良市般若寺町 168 (奈良交通バス「般若寺」バス停から徒歩5分。駐車場あり)
- ◆開館：11:00～16:00(併設レストランは◎水)
- ◆予約：不要
- ◆TEL：0742-23-2125
- ◆FAX：0742-23-2126
- ◆E-mail：info@uemura-bokujyo.co.jp

ホームページ



## 9 奈良豆比古神社資料館

能の源流となった国の無形民俗文化財の「翁舞(10月8日)」で有名な奈良豆比古神社の資料館には奈良阪町に伝わる古文書や古絵図、能面の写真ほか楽器や装束などが展示されています。平成24年、高札場が復元されました。



- ◆館長：辰巳眞一さん
- ◆住所：〒630-8104 奈良市奈良阪町 2489 (奈良交通バス「奈良阪」バス停すぐ)
- ◆開館：10:00～15:00
- ◆予約：要予約(1週間前まで)
- ◆TEL：0742-23-1025(0742-22-8972 館長宅)

## 1 奈良女子大学記念館

明治42年、奈良奉行所のあとに奈良女子高等師範学校本館として建てられ、平成6年に国の重要文化財に指定された奈良女子大学記念館(旧本館)と、守衛室(附正門)を見学できます。



- ◆住所：〒630-8506 奈良市北魚屋西町 (近鉄奈良駅から北へ徒歩約5分)
- ◆開館：春と秋に一般公開あり。  
※新型コロナウイルス感染症対策で中止の場合があるため、詳細はホームページをご覧ください。
- ◆TEL：0742-20-3220(総務課)
- ◆FAX：0742-20-3205(総務課)

ホームページ



## 4 向出醤油醸造元

明治12年創業。昔ながらの製法で大量生産にはない風味や香りを守っています。薄暗い工場には大きな樽桶が所狭しと並び、醤油独特の香りが満ちています。



- ◆館長：向出佳史さん
- ◆住所：〒630-8206 奈良市手貝町 22-1 (奈良交通バス「手貝町」バス停すぐ)
- ◆開館：9:00～17:00 ◎不定休
- ◆予約：要予約  
※時期によって見学できない場合あり。必ず事前にお問い合わせください。  
※店舗のみの利用は予約不要です。
- ◆TEL：0742-22-2306
- ◆FAX：0742-22-2307

## 8 武田商店

奈良公園の鹿という特定の野生動物のために作られる全国的にも珍しい餌「せんべい」を作る博物館です。



- ◆館長：武田豊さん
- ◆住所：〒630-8104 奈良市奈良阪町 2476-2 (奈良交通バス「奈良阪南口」バス停から徒歩5分)
- ◆開館：8:00～15:00 ◎日
- ◆予約：要予約
- ◆TEL：0742-22-4853
- ◆FAX：0742-93-7377

## 10 瓦道

飛鳥時代に遡る瓦の歴史。この博物館では瓦の製造工程の見学や瓦づくり体験(有料)ができます。



- ◆館長：鈴木浩之さん
- ◆住所：〒630-8104 奈良市奈良阪町 1144 (奈良交通バス「奈良阪」バス停から徒歩5分。駐車場あり)
- ◆開館：9:00～17:00
- ◆予約：要予約
- ◆TEL：0742-22-2391
- ◆FAX：0742-22-2393
- ◆E-mail：info@gado.co.jp

ホームページ



## 2 散華美術館

おもてなしトイレ  
協力施設

散華とは、寺院での法要の際に仏の供養と場の清浄のために撒かれる蓮の花弁をかたどった紙片のこと。美術散華保存会で製作した散華や数々の名所の散華を展示しています。散華のほか蓮や飛天に関する調度品もご覧ください。



- ◆館長：原田千賀子さん
- ◆住所：〒630-8291 奈良市西笹井町 24 (近鉄奈良駅から徒歩10分)
- ◆開館：土13:00～16:00  
日・祝11:00～16:00  
◎平日、月末の土日、年末年始、お盆
- ◆予約：要予約
- ◆TEL：0742-25-3601
- ◆FAX：0742-25-3602

## 5 坂本曲齋

奈良時代に「天平芸術の粹」として盛んに用いられていた木工の技法「木画」。木片を組み合わせ、木肌の美しさを生かして模様を作り箱などの装飾をするものです。



- ◆館長：坂本曲齋さん
- ◆住所：〒630-8211 奈良市雑司町 2-1 (奈良交通バス「今在家」バス停から徒歩2分)
- ◆開館：月1回(10名程度)
- ◆予約：要予約  
※入口の展示作品の見学は予約不要
- ◆TEL：0742-22-2953
- ◆FAX：0742-22-9890

## 旧鍋屋交番きたまち案内所

(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)

「鍋屋の交番」として親しまれてきた旧奈良警察署鍋屋連絡所を、使用されていた当時の姿を残しながら改修し、きたまちの案内所として活用しています。「駐在さん」と呼ばれるボランティアがきたまちの案内を行っています。



- ◆住所：〒630-8284 奈良市半田横町 37-2 (近鉄奈良駅から北へ徒歩5分)
- ◆開館：10:00～16:00 ◎水、12/27～1/5
- ◆TEL：0742-23-1928
- ◆FAX：0742-23-1928

ホームページ



## 奈良市きたまち転害門観光案内所

世界遺産東大寺転害門に隣接し、建築家岩崎平太郎氏の設計により昭和15年に南都銀行手貝支店として建てられた建物を改修し活用したきたまちの案内所です。地域住民及び観光ボランティアによるきたまちの案内を行っています。



- ◆住所：〒630-8206 奈良市手貝町 54-1 (奈良交通バス「手貝町」バス停すぐ)
- ◆開館：10:00～16:00 ◎木、12/27～1/5
- ◆TEL：0742-24-1940
- ◆FAX：0742-24-1940

ホームページ



## 3 橋本洋傘店

戦後すぐから営業している橋本洋傘店は、傘の仕立てや修理を、館長自身がしているので、日頃の傘の扱い方やメンテナンスの方法をわかりやすく教えてくれます。着物地でもパラソルができます。



- ◆館長：高木ひろさん
- ◆住所：〒630-8113 奈良市法蓮町 1327 (奈良交通バス「法蓮仲町」バス停から徒歩5分)
- ◆開館：10:00～17:00 ◎不定休
- ◆予約：要予約(7日前まで)
- ◆TEL：0742-26-5472
- ◆FAX：0742-26-5472

## 6 三木栄秀堂

書画の保存と鑑賞のために布や紙などで縁取りや裏打ちなどをして掛軸や額に仕立てる表装をしている博物館です。



- ◆館長：三木清司さん
- ◆住所：〒630-8102 奈良市般若寺町 11-1 (奈良交通バス「般若寺」バス停から徒歩4分)
- ◆開館：9:00～17:00 ◎土・日・祝
- ◆予約：要予約
- ◆TEL：0742-23-0443
- ◆FAX：0742-23-0443

## きたまちまちかど博物館とは

きたまちの人たちがボランティアの「館長」として仕事場や収集品などを公開し、地域の伝統や文化に触れる機会を提供する「奈良まちかど博物館」の一つです。

館長の仕事場や生活の場を見学しますので、**見学は原則予約制で公開内容にも成約があります。マナーを守ってご見学ください。**

お問い合わせ

奈良市 奈良町にぎわい課  
(TEL 0742-24-8936)へ。

この看板が目印です



まちかど博物館ホームページ



## 交通のご案内

きたまちまちかど博物館に専用駐車場はありません。お越しの際は公共交通機関をご利用いただくか、奈良市転害門前観光駐車場ほか近隣の駐車場をご利用ください。

**奈良市転害門前観光駐車場のご案内**

- ◆住所：〒630-8206 奈良市手貝町14-1 (奈良交通バス「手貝町」バス停すぐ。般若寺まで約1.2km)
- ◆台数：33台(うち車いす優先駐車区画1台、ゆずりあい駐車区画1台)
- ◆注意：二輪車及び高さ2.2mを超える車両はご利用いただけません。

ホームページ

